

第1回加古川市健やか親子21計画策定委員会 議事要旨

- 日時 令和2年 10月6日(火) 13時 15分から 15時 00分
- 場所 加古川市役所 新館9階 191会議室
- 出席委員 和田委員長、水野副委員長、横道委員、高脇委員、小森田委員、菅野委員
- 会議次第
1. 開会
  2. あいさつ
  3. 委員・事務局紹介
  4. 委員長・副委員長の選出について
  5. 議事
    - (1)「加古川市健やか親子21計画策定委員会」スケジュール(案)について
    - (2)「加古川市健やか親子21(第1次)計画」概要について
    - (3)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」中間評価(案)について
    - (4)「加古川市健やか親子21(第2次)計画～中間年の見直し～」(素案)について
    - (5)その他
  6. 閉会

- 配布資料
- 資料1:令和2年度 第1回 加古川市健やか親子21計画策定委員会座席図
  - 資料2:加古川市健やか親子21計画策定委員会 委員名簿
  - 資料3:加古川市健やか親子21計画策定委員会 事務局名簿
  - 資料4:加古川市健やか親子21計画策定委員会規則
  - 資料5:加古川市健やか親子21計画策定委員会傍聴要領
  - 資料6:加古川市健やか親子21計画策定委員会 スケジュール(案)
  - 資料7:加古川市健やか親子21(第2次)計画～中間年の見直し～(素案)
  - 資料8:国「健やか親子21(第2次)」の中間評価等に関する検討会報告書【抜粋】

議事要旨

発言者	内容
事務局	1. 開会 開会宣言
事務局	2. 玉野こども部長あいさつ
委員 事務局	3. 委員・事務局紹介
事務局  委員長 副委員長	4. 委員長・副委員長の選出について 全委員の出席により会議が成立していることを確認。 委員の互選により、委員長は和田委員に決定。 和田委員長が副委員長として水野委員を指名。 就任あいさつ

事務局	<p>5. 議事</p> <p>(1)「加古川市健やか親子21計画策定委員会」スケジュール(案)について</p> <p>(2)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」概要について</p> <p>資料6及び資料7に基づき説明。</p>
委員長	<p>事務局より説明がありましたが、委員の方から質問はありますでしょうか。</p> <p>加古川市健やか親子21(第2次)計画の前提になっておりますのが、国の健やか親子21(第2次)計画です。厚生労働省が示す基本的な考え方の基盤課題A、B、C、重点課題①、②を基に、加古川市の基本目標及び重点目標が設定されています。策定から5年目を迎える令和2年度に中間評価及び計画の見直しを実施し、今後は母子保健分野と成人保健分野を保健の視点から、妊娠期から乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期まで一生を通じた取り組みを強化するために、計画期間を「ウェルネスプランかこがわー第2次健康増進計画・第2次食育推進計画ー」と合わせた令和4年度までの7年間に短縮し、一体的に推進していくとのことでした。母子保健分野のみに視点を狭めてしまうと、施策が抜け落ちてしまう分野もありますので、食生活、運動、喫煙など生涯にわたって取り組むべき課題について分野横断的に一体的に取り組むという方向性で、委員の皆様の見解をいただきながら見直しを行っていきたいということでしたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>一つ疑問に思ったのが、加古川市の出生数が平成28年は2,232人でしたが、平成29年は2,029人になっており、大きく減少した原因は何かあったのでしょうか。</p>
事務局	<p>色々な要因があると思いますが、20～34歳で出産した人の数が減少しており、一つの要因として団塊の世代ジュニアの方々が出産を終え、減少につながっているのではないかと考えています。</p>
副委員長	<p>出生数の減少は複数の要因が重なっており、明確な原因があるというわけではないと思いますが、今後出生数の減少に歯止めをかけていくことが必要ではないでしょうか。</p>
委員長	<p>加古川市の現状は、20～34歳の出産数が減少し、出生率は兵庫県、全国と同率で推移しているということですね。他に質問はよろしいでしょうか。ないようでしたら、これらの現状を踏まえて、議事(3)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」中間評価(案)につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(3)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」中間評価(案)について</p> <p>資料7を基に基づき説明。</p>
委員長	<p>事務局より説明がありましたが、委員の方からご意見・ご質問はありますでしょうか。</p>
委員	<p>いくつかの指標で、資料が当初値は出産子育てに関するアンケート調査でしたが、中間値は健康診査問診となっているものがあります。当初値の把握の方法と中間値の健康診査問診の集計数や資料を変更することによってどのような違いがでているかの説明をお願いします。</p>
事務局	<p>出産子育てに関するアンケート調査について、平成26年8月、9月の4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の対象児の保護者1,167名を対象にしてい</p>

	<p>ます。調査方法は、平成 26 年 7 月～8 月に対象者に調査票を郵送し、平成 26 年 8 月～10 月の 3 か月をかけて乳幼児健康診査会場にて回収を行いました。回収数は 733 枚、回収率は 62.8% です。</p> <p>健康診査問診について、平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 2 月 29 日に実施した 4 か月児健康診査、1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査から集計を行いました。集計数は、4 か月児健康診査約 1,700 件、1 歳 6 か月児健康診査約 1,700 件、3 歳児健康診査約 1,900 件です。</p> <p>資料を変更することによって生じる違いについては、調査方法や集計数の他に、一部質問が変更となっている指標があります。例えば指標(3) 育児期間中の両親の喫煙率では、出産子育てに関するアンケート調査では「育児期間中に自宅で喫煙(1 日 1 本以上)していますか」という質問でしたが、健康診査問診では「お父さんやお母さんはタバコを吸いますか」という質問になっており、中間値の悪化、改善にも少なからず影響しているのではないかと考えています。</p>
委員長	質問にも変更がある指標があると説明がありましたが、今回なぜ質問の変更を行ったのですか。
事務局	質問を変更した理由ですが、評価指標については国から示されている評価指標を基に設定をしており、国の現状とも比較を行うこともあるため、国から示されている質問の例に変更を行っています。
委員長	加古川市独自の質問から国の質問に合わせたということによろしいですか。
事務局	ご指摘のとおりです。
委員	指標(6) 出産後 1 か月時の母乳育児の割合について、出産 1 か月時では母乳育児の割合は 38.2% となっていますが、4 か月児健康診査時の母乳育児の割合が増加しているのか、減少しているのか分かっていれば教えてください。
事務局	4 か月健康診査時での母乳育児の割合については、令和元年度 47.6% となっており、1 か月から比較すると徐々に母乳育児の方法を習得できている産婦が増加しています。
副委員長	指標(31) この地域で子育てをしたいと思う親の割合は 94.0% となっており、地域の小児科医や行政等の取り組みの結果ではないでしょうか。中間評価は、乳幼児健康診査や予防接種など日々の取り組みを再認識する場でもある。このような結果を敏感に感じるのは小児科医でもあるため、今後も連携・協力しながら進めていきたい。
委員	<p>本計画で定めた各目標の現状と課題では、目標を達成するために多くの取り組みを行い、現状の課題についても分析ができており、今後の取り組みの方向性などがよく見えてきていると思います。</p> <p>評価指標では、子どもが生まれてからアンケートや問診で聞き取りを行っていますが、タバコや飲酒の害については、妊娠前から知っておかないといけない項目もある。妊娠する前、出生届を出す時などには、聞き取り調査を行っていますか。切れ目のない支援を行っていくためには、聞き取りや対象者に合わせた支援が必要ではないでしょうか。</p> <p>早期からの支援を考えると、中学生、高校生から正しい知識の普及啓発が必要です。アンケートでタバコを吸ったか吸っていないか、お酒を飲んだか飲んでいないかだけを調査</p>

事務局	<p>するのではなく、タバコや飲酒の害について知っているかの調査も必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、出生届提出時には、タバコや飲酒のことについて聞き取りは行っていませんが、妊娠届提出時には、タバコや飲酒の状況及び困り事や家族の状況等について聞き取りを行い、妊婦の状況を把握して今後の相談につながるように支援しています。タバコや飲酒をやめられないという妊婦やその家族がいる場合は、保健師・助産師が保健指導を実施しています。</p>
委員長	<p>他にご意見・ご質問はないでしょうか。</p> <p>中間評価では、指標項目の63.3%が最終目標値や中間目標値を達成または、計画策定時値と比較して向上がみられるということでした。一方で、計画策定時値と比較して進捗がみられない指標項目も36.7%あるということでした。</p> <p>平成28年2月に本計画を策定後、平成28年4月に「加古川子育て世代包括支援センター」、平成29年6月に「東加古川子育て世代包括支援センター」を開設し、令和元年には両センターで3,056件の来所相談を実施したということでしたが、開設後の相談件数の推移はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>両センターの来所相談数ですが、平成28年度は1,692件、平成29年度は2,693件、平成30年度は3,337件となっています。</p>
委員長	<p>保健事業においては、全体に対して行うポピュレーションアプローチと相談支援のようなハイリスクアプローチの両方が必要かと思えます。中間評価で見てきた課題を踏まえ、議事(4)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」～中間年の見直し～(素案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事(4)「加古川市健やか親子21(第2次)計画」～中間年の見直し～(素案)について資料7を基に基づき説明。</p>
委員長	<p>事務局より説明がありましたが、委員の方からご意見・ご質問はありますでしょうか。</p>
委員	<p>加古川市では加古川医師会の禁煙ひろめ隊派遣事業を利用し、中学生に対してタバコの害について正しい知識の普及啓発を行っています。知識として知っているのと実践しているのは違うため、行動変容につながる教育ができるかが課題です。そのキーワードは自己管理能力ではないかと考えています。分かっているタバコの害よりも、好奇心や仲間との繋がり、家に一人で孤独でいる時に一緒にいてくれるのがタバコであるなど、タバコがプラスになる場合、放課後の生活を直接見るができない者としてどう支えていくか、とても難しい問題ですがそれができれば評価指標の数値に反映されていくのではないかと思います。</p>
委員	<p>基本目標2 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実では、行政・関係機関の取り組みの中に、自己肯定感の向上がある。加古川市は加古川市自殺対策計画を策定し、自殺対策の取り組みを進めていると思いますが、自己肯定感を高めることは自殺予防にもつながるという文献もある。取り組みの中に、自己肯定感の向上を取り入れるのは重要であり、どのように高めていくかは難しいですが、人権の授業や地域行事への</p>

副委員長	<p>参加、ボランティア体験などを引き続き推進していただきたい。</p> <p>以前は出産前小児保健指導(プレネイタルビジット)として、育児不安を持つ妊婦に対して、産婦人科医から小児科医を紹介し、妊娠中から小児科医による保健指導を受けることにより育児不安の解消を図るとともに、生まれてくる子のかかりつけ医を確保するという事業を実施していた。実施件数が伸びず終了となっているが、この地域は産婦人科医と小児科医の連携が十分に取れており、妊婦のニーズもあるのではないのでしょうか。</p> <p>今後数年間は with コロナの生活様式にならざるを得ない状況である。その後の after コロナ時代も我々の生活状況がどうなっているか全く予想できない。そのような状況だからこそ、「すべての子どもが健やかに育つまち」の基本理念の下、子ども・子育て支援事業を加古川市の政策の屋台骨として進めてほしい。小児科医というのは、子ども達をみている、未来をみているという自負がある。本計画においても、子ども達への支援を強く進めていただきたい。</p>
委員	<p>アンケートや聞き取り調査ができていない人はどれだけいるのか。子育て支援施設で働いているがコロナ禍で一時休館となり、再開してから3か月経つが再開したことを知らなかった母親はたくさんいる。発信していることをキャッチできる人とキャッチできない人がおり、育てにくさを感じている人はずっとキャッチできずに過ごしているのではないのでしょうか。子育て世代だけでなく、いろんな世帯に回覧をするなど、発信している人の母体数を増やしていくことが必要ではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>それぞれ委員の立場から貴重なご意見をいただきました。限られた時間の中で、全ての項目について審議することには至りませんでした。事務局には、各委員の立場からの意見を集約し、第2回加古川市健やか親子21計画策定委員会では具体的な素案を提示いただきますよう、お願いします。</p>
委員長	<p>議事(5)その他</p> <p>その他、議事として何かご発言しておきたいことはありますでしょうか。もしご発言、ご意見等がなければ、これをもって議事を終了したいと思います。</p>
事務局	<p>6. 閉会</p> <p>閉会宣言及び次回開催予定の案内</p>